

社会経済グループ  
下水道技術からみた途上国に  
おける大都市の上下水道発展史

山口大学工学部社会建設工学科

今 井 剛

# 自己紹介

- ・ 氏名：今井 剛（いまい つよし）
- ・ 所属：山口大学工学部社会建設工学科
- ・ 専門：衛生工学、環境工学
- ・ 現在の研究テーマ：廃水処理（嫌気性処理、好気性処理）、有機性廃棄物処理・資源化、閉鎖性水域の底質改善
- ・ 途上国との研究交流経験：タイ、中国、マレーシア（以上、拠点大学方式学術交流）、韓国
- ・ 現在の留学生：中国、タイ

# 担当予定テーマ（１）

## 下水道技術からみた途上国における 大都市の上下水道発展史

- ・ 発展史をみる上で重要となるような指標、例えば、通常日本で用いる下水道普及率（日本：H15末66.7%）や汚水処理人口普及率（日本：H15末77.7%）ではなく、**都市化面積と下水道ネットワーク面積の比（下水道カバー率）**を指標することを考えています。（人口は極めて把握しにくい（実態として）状況が多いので、それをベースにした指標の有効性には疑問あり）
- ・ この場合の下水道とは広義の意味で日本で言う水洗化率（浄化槽、農業集落廃水処理施設など下水道に準ずるもの）で考えたい。

## 担当予定テーマ（２）

### 下水道技術からみた途上国における 大都市の上下水道発展史

- ・ 東南アジアでは歴史的にし尿のみの浄化槽も発達している国があるので、それらも評価に加えたい。
- ・ 逆に、水環境保全率（水環境への下水道への寄与を示す指標：下水道普及率よりさらに低くなる）を用いて、近年における発展を重視することも考える。
- ・ 上水関係の資料が手に入れば、それを積極的に有効に活用し、指標に組み込んでいきたい。

# 研究方法

- ・ 現地における調査・情報／資料収集
- ・ 現地カウンターパートの選定
  - 拠点大学方式学術研究交流で共同研究を実施している相手国の先生を中心に情報を収集の上で選定  
(JICAにも協力いただければ・・・)
- ・ 現地カウンターパートとの協働
- ・ 【質問】 グループ内はもちろんグループを超えて関係する類似の資料収集を同一時期に同時に行うことは可能でしょうか？